

「それ何なん？」地方創生にまつわる言葉、ご説明します！

第3回：「デュアルスクール」って何？

「デュアルスクール」とは、地方創生施策の一環として徳島県が取り組む、小学生や中学生を対象とした都会の学校にも徳島の学校にも通える新たな教育制度です。

例えば、都市部と地方。複数地域で生活する「2拠点居住」と呼ばれる生活スタイルが広がりつつあります。ひとりが複数の場所で生活する2拠点居住者が増えることは急激な地域衰退を防ぐひとつの答えなのかもしれません。

美波町に集まるサテライトオフィスの中には都市部と美波町を行き来する方も多いのですが、就学児をお持ちのご家族には「2拠点居住」はハードルが高いものになっていました。そこで、ご家族でも徳島での「2拠点居住」をしていただくために生まれた取り組みが「デュアルスクール」。転校手続きを簡略化し、しっかりとした受け入れ体制をつくることで、お子さんが都市部と徳島の学校の両方で学ぶことが可能になりました。2016年、全国初となるデュアルスクールが実践されたのは美波町。東京都の小学2年生が、日和佐小学校にデュアルスクール入学し、2週間の間、自然豊かな美波の環境で学びました。最終登校日の「さよならはいらないよ。来年も来るから。」の言葉が印象的でした。



こんな方にオススメ

- ・家族で2拠点居住に挑戦したい
- ・自然豊かな地方での学びもお子さんに体験させたい
- ・本格的な地方移住を決める前にお子さんが地方で馴染めるかを確認したい
- ・おじいちゃんおばあちゃんの住むふるさとでも学ばせたい

少子化対策の一環として、美波町では平成29年度もデュアルスクールを希望するお子様やご家族の受け入れを積極的に進めていきます。この制度を利用すれば、都会の学校にお通いのお孫さんが、お盆やお正月以外にも美波町に戻ってくることが可能になります。是非、活用をご検討下さい。

地方創生トピックス

ようこそ美波町へ！



韓国料理のお店がオープンしました！

日和佐駅から徒歩5分の場所に、本格的な韓国料理が味わえる「オモニ」がオープンしました。長野県から姉妹で移住した丸山敬子さんと笹辺修子さんが、町経済の活性化を目的とする「美波町小規模事業起業支援制度」を活用して2月にオープンさせました。テレビで美波町を知り「美波町のような温暖な地域でお店をしたい。」と移住を決めたそうです。「地域に密着して、地元の方々と楽しみながらお店をしたい。」そんな思いで今日もお店を開いています。

IoT関連企業が美波に進出！

東京都でコンピュータ設計やIoTサービスの開発を手がける株式会社イーツリーズ・ジャパンが美波町奥河内にサテライトオフィスを設立しました。数年前からうみがめトライアスロンへの参加で美波町を訪れていた船田社長。訪れるたびに温かく迎え入れてくれる町に魅せられ、オフィスの設立にとどまらず住民票まで移してすっかり美波人に。美波町がますます楽しい町になるように、IT技術で役に立ちたいと願う船田社長。「この問題が解決できれば仕事や生活がもっと楽になるのに…。そんな悩みがあれば気軽に相談してください。」と仰っています。

